

※ 処方箋医薬品<sup>注1)</sup>

## 日本薬局方 炭酸水素ナトリウム注射液

# 炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」

SODIUM BICARBONATE INTRAVENOUS

貯 法：室温保存  
使用期限：容器等に記載  
注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	22500AMX00747
薬価収載	2013年12月
販売開始	1986年4月

### 【組成・性状】

#### 1. 組成

販売名	炭酸水素ナトリウム静注7%「NP」
容量	20mL
有効成分 (1管中)	日本薬局方 炭酸水素ナトリウム 1.4g

#### 2. 製剤の性状

性状	無色澄明の水性注射液
容器	無色のガラスアンプル
pH	7.0～8.5
浸透圧比 (生理食塩液に対する比)	約5

### 【効能・効果】

- アシドーシス
- 薬物中毒の際の排泄促進（ただし、pHの上昇により尿中排泄の促進される薬物に限る。）
- 下記疾患又は状態に伴う悪心・嘔吐及びめまい動揺病、メニエール症候群、その他の内耳障害
- 急性蕁麻疹

### 【用法・用量】

- アシドーシスには、一般に通常用量を次式により算出し、静脈内注射する。  
必要量 (mEq) = 不足塩基量 (mEq/L) × 0.2 × 体重 (kg)
- 薬物中毒の際の排泄促進、動揺病等に伴う悪心・嘔吐及びめまい並びに急性蕁麻疹には、炭酸水素ナトリウムとして通常成人1回12～60mEq（1～5g）を静脈内注射する。なお、いずれの場合も、年齢、症状により適宜増減する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 1) 心停止のある患者〔炭酸ガスが蓄積し、細胞内アシドーシス発現の誘因となるおそれがある。〕
- 2) うっ血性心不全のある患者、重症高血圧症の患者〔循環血液量を増すことから心臓に負担をかけ、症状が悪化するおそれがある。〕
- 3) 腎障害のある患者〔水分、ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。〕
- 4) 末梢及び肺浮腫のある患者〔浮腫が悪化するおそれがある。〕
- 5) 妊娠中毒症の患者〔水分、ナトリウムの過剰投与に陥りやすく、妊娠中毒症を悪化させるおそれがある。〕
- 6) 低カルシウム血症の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

- 7) 低カリウム血症の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- 8) 新生児（「5. 小児等への投与」の項参照）

#### 2. 重要な基本的注意

心肺蘇生時には、炭酸ガスを十分排除する必要があるため、本剤の投与にあたっては、換気を十分に行うこと。

#### 3. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明	
過剰投与	電解質	アルカローシス、高ナトリウム血症、低カリウム血症
	血液	血液凝固時間延長
	骨格筋	テタニー
神経系	口唇しびれ感、知覚異常	
投与部位	血管痛	
その他	発熱、全身冷感、不快感、貧血、悪心、徐脈等	

#### 4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

#### 5. 小児等への投与

新生児に高濃度液を投与すると、頭蓋内出血を起こすとの報告があるので、必要最少量を注射用水で2%以下の濃度に希釈して、できるだけ緩徐（1 mEq/分以下）に投与することが望ましい。

#### 6. 適用上の注意

##### 1) 調製時

- (1) 本剤はアルカリ性であり、他の注射剤と混合する場合は、配合変化を起こしやすいので注意すること。
- (2) カルシウムイオンと沈殿を生じるので、カルシウム塩を含む製剤と配合しないこと。

##### 2) 投与前

寒冷期に結晶が析出することがあるが、この場合には温めて結晶を溶解して使用すること。

##### 3) 投与时

- (1) ゆっくり静脈内に注射すること。
- (2) 血管外へ漏れると組織の炎症・壊死を起こすことから、針先が確実に静脈内に挿入されていることを確認して、注入を開始すること。  
また、できるだけ太い静脈を利用すること。細い静脈しか得られないときは、適量の注射用水や5%ブドウ糖注射液で希釈し、緩徐に静脈内注射（点滴）すること。
- (3) 血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては投与を中止すること。

#### 4) アンプルカット時

本剤は、ワンポイントカットアンプルを使用している  
ので、アンプル頭部のマークを上にして反対側（下の  
方向）に軽く力を加えてカットすること。なお、アン  
プルカット時の異物混入を避けるため、首部の周りを  
エタノール綿等で清拭すること。

#### 【薬効薬理】

生体内の代謝異常又は諸疾患に起因する体液中の酸性物質  
の発生、又は停滞によって起こるアシドーシスに用いて、  
正常の液性に戻す。<sup>1)</sup>

#### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：炭酸水素ナトリウム (Sodium Bicarbonate)

分子式：NaHCO<sub>3</sub>

分子量：84.01

性 状：・白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、  
特異な塩味がある。

・水にやや溶けやすく、エタノール（95）又はジ  
エチルエーテルにほとんど溶けない。

・湿った空气中で徐々に分解する。

#### 【取扱い上の注意】

##### 安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、3  
年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、炭  
酸水素ナトリウム静注7%「NP」は通常の市場流通下にお  
いて3年間安定であることが確認された。<sup>2)</sup>

#### 【包 装】

20mL×50管

#### 【主 要 文 献】

1) 第十六改正日本薬局方解説書

2) ニプロ（株）：社内資料（安定性試験）

#### ※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求  
ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室

〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

☎ 0120-226-898

FAX 06-6375-0177

※※



**NIPRO**

製造販売  
（輸入）

ニプロ株式会社  
大阪市北区本庄西3丁目9番3号